

病害虫発生予報 第8号(11月予報)

和歌山県農作物病害虫防除所
TEL 0736(64)2300

< 予報の概要 >

作物名	病害虫名	発生量	作物名	病害虫名	発生量
エンドウ	褐斑病、褐紋病 つる枯細菌病 うどんこ病 ハダニ類 シロイチモジヨトウ	やや少 やや少 並 並 やや多	野菜・花 き全般	ハスモンヨトウ オオタバコガ	並 並
ダイコン ハクサイ キャベツ	黒斑細菌病 アブラムシ類 コナガ ヨトウガ	並 やや多 並 やや多	カンキツ	果実腐敗病 ミカンハダニ カメムシ類	並 並 並

気象予報

1 か月予報 (予報期間10月23日～11月22日 大阪管区气象台)

< 予想される向こう1か月の天候 >

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は、数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

	月平均気温 (平年値) (°C)	月降水量 (平年値) (mm)
11 月	和歌山 13.2	和歌山 76
	潮岬 15.1	潮岬 178

I. 野菜・花き

<エンドウ>

1. 褐斑病、褐紋病

- (1) 予報内容 発生程度 やや少
- (2) 予報の根拠
 - ① 紀中地域の露地栽培における発生ほ場率は10月4半旬現在、0%（過去8年間の平均12%）であった。
 - ② 11月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 多湿畑で発生しやすいので、排水に注意する。
 - ② ハウス栽培では、降雨が多い場合は早めにビニル被覆を行う。
 - ③ 薬剤の予防散布に努める。
 - ④ 種子伝染するので、発生ほ場では採種しない。

2. つる枯細菌病

- (1) 予報内容 発生程度 やや少
- (2) 予報の根拠
 - ① 紀中地域の露地栽培における発生ほ場率は10月4半旬現在、0%（過去9年間の平均10%）であった。
 - ② 11月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 本病は、褐斑病、褐紋病と葉の病斑が酷似するので注意する。褐斑病、褐紋病が日光に透かしても不透明であるのに対し、本病は光が透けて見えることで区別できる。
 - ② 防風ネットの発病抑制効果は高い。
 - ③ 種子伝染するので、発生ほ場では採種しない。

3. うどんこ病

- (1) 予報内容 発生程度 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 紀中地域の露地栽培における発生ほ場率は10月4半旬現在、0%（過去6年間の平均0.6%）であった。
 - ② 11月の気象予報による。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① ハウス栽培では乾燥すると低温期でも発生しやすい。
 - ② 下位葉の表面に病斑を認めたら薬剤散布を行う。

4. ハダニ類

- (1) 予報内容 発生量 並
- (2) 予報の根拠
 - ① 紀中地域の露地栽培エンドウでは10月4半旬現在、カンザワハダニの発生ほ場率10%（平年10%）、ナミハダニ5%（平年10%）と平年並であった。
- (3) 防除上考慮すべき諸点
 - ① 薬液が葉裏に十分かかるように散布する。

5. シロイチモジヨトウ

- (1) 予報内容 発生量 やや多
- (2) 予報の根拠
 - ① 紀中地域の露地栽培エンドウでは10月4半旬現在、発生ほ場率47%（平

年27%)、寄生株率10.5%(平年2.8%)と平年よりやや多かった。

② 10月のフェロモントラップ誘殺数は4半旬現在、紀の川市22頭(平年13頭)、御坊市32頭(平年36頭)である。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 中齢～老齢幼虫は薬剤感受性が低いので、発生初期の若齢期に薬剤散布する。

<ダイコン、ハクサイ、キャベツ>

1. 黒斑細菌病(ハクサイ)

(1) 予報内容 発生程度 並

(2) 予報の根拠

① 紀北地域のハクサイにおける発生ほ場率は10月4半旬現在、0%(平年0.6%)と平年並の発生であった。

② 11月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 常発地では降雨により多発するので予防散布を行う。

2. アブラムシ類

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 紀北地域のキャベツでは10月5半旬現在、モモアカアブラムシの発生ほ場率55%(平年18%)、寄生株率3.2%(平年3.4%)、ニセダイコンアブラムシの発生ほ場率82%(平年27%)、寄生株率16.4%(平年4.5%)と平年に比べやや多かった。

② 10月の黄色水盤への飛来数は4半旬現在、32頭(平年79頭)である。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬液が株元の葉裏にかかるようにていねいに散布する。

3. コナガ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

① 紀北地域のキャベツでは10月5半旬現在、発生ほ場率は9%(平年8%)と平年並であった。

② 10月のフェロモントラップ誘殺数は4半旬現在、紀の川市0頭(平年0.9頭)、和歌山市1頭(平年4.9頭)である。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 薬剤抵抗性の発達を遅らせるために、系統の異なる薬剤でローテーション散布を行う。

4. ヨトウガ

(1) 予報内容 発生量 やや多

(2) 予報の根拠

① 紀北地域のキャベツでは10月5半旬現在、発生ほ場率46%(平年8%)、寄生株率5.9%(平年1.1%)と平年よりやや多かった。

② 10月のフェロモントラップ誘殺数は4半旬現在、紀の川市4頭(過去9年の平均4.2頭)である。

(3) 防除上考慮すべき諸点

① 発生初期の若齢期の防除に努める。

<野菜・花き全般>

1. ハスモンヨトウ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 紀中地域の露地栽培エンドウでは10月4半旬現在、発生ほ場率32%（平年45%）、寄生株率4.7%（平年6.9%）と平年並であった。
- ② 紀北地域の露地栽培キャベツでは10月5半旬現在、発生ほ場率46%（平年45%）、寄生株率4.5%（平年10.9%）と平年並であった。
- ③ 10月のフェロモントラップ誘殺数は4半旬現在、紀の川市86頭（平年1,142頭）、和歌山市450頭（平年208頭）、御坊市1,491頭（平年2,155頭）である。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 中齢～老齢幼虫は薬剤感受性が低いので、発生初期の若齢期に薬剤散布する。

2. オオタバコガ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 紀中地域の露地栽培エンドウでは10月4半旬現在、発生ほ場率58%（平年43%）、寄生株率8.9%（平年6.9%）と平年並であった。
- ② 10月のフェロモントラップ誘殺数は4半旬現在、紀の川市18頭（平年13頭）、御坊市3頭（平年103頭）である。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 中齢～老齢幼虫は薬剤感受性が低いので、発生初期の若齢期に薬剤散布する。

II. 果 樹

<カンキツ>

1. 果実腐敗病（緑かび病、青かび病）

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 10月中旬の巡回調査によると、樹上果実の緑かび病の発病園率は20%（平年19%）と平年並であった。
- ② 一部で裂果、ヤガ類、ヒヨドリによる被害果がみられるため、腐敗果の発生が助長されるおそれがある。
- ③ 11月の気象予報による。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 樹上の発病果や、これに接触している果実は速やかに摘果する。
- ② 果実はていねいに取り扱い、果面に傷をつけない。
- ③ 収穫前散布を励行する。薬剤はトップジンM水和剤2,000倍、ベンレート水和剤4,000倍、ベフラン液剤25 2,000倍のいずれかを散布する。トップジンM水和剤、ベンレート水和剤は効果を高めるためにも収穫7日以上前の散布が望ましい。
- ④ 収穫前の薬剤散布は使用基準に留意する。

2. ミカンハダニ

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 10月中旬の巡回調査によると、発生園率は23%（平年26%）と平年並で、寄生葉率は3.2%（平年6.3%）と平年に比べ低かった。
- ② 近畿地方の1か月予報によると11月の気温が平年に比べ高い確率が50%である。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 収穫前の散布は使用基準に留意する。

3. カメモシ類

(1) 予報内容 発生量 並

(2) 予報の根拠

- ① 10月中旬の巡回調査によると、カメモシ類の発生園はみられなかった。
② 予察灯の誘殺数は、有田川町（果樹試験場）では9月中旬、紀の川市（かきもも研究所）では10月上旬、みなべ町（うめ研究所）では10月中旬を境に減少している。
③ 近畿地方の1か月予報によると11月の気温が平年に比べ高い確率が50%である。

(3) 防除上考慮すべき諸点

- ① 園内外の果樹カメモシ類の発生と果実被害の状況を常に観察する。
② 飛来がみられる園では直ちに登録農薬を散布するが、収穫期の散布となるので使用基準に十分注意する。

本情報は、下記の方法でもご覧頂けます。

○農業環境保全室ホームページ <農作物病虫害防除所コーナー>

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyouhou.html>

○和歌山県ホームページ <わかやま県政ニュース>

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/>

※詳しくは、農作物病虫害防除所(TEL 0736-64-2300)までお願いします。